

学習・教育目標で定める到達目標の評価方法

学 習 ・ 教 育 目 標		関連する JABEE 基準	評 価 方 法	備考
主 目 標	到 達 目 標			
(A) 愛の精神 世界平和に貢献できる技術者に必要な豊かな教養、自ら考える力、いつくしみの心を身につける	(A1) 自ら考える力を身につける (1) 自然や人間の活動を地球的視点から多面的に考察するために必要な基礎知識を有すること (2) 情報を収集し、論理的に自らの考えを構築することができること (3) 事実と自らの考え、他者の考えと自らの考えとを区別できること	(a)	(i) ◎科目を全て修得していること (ii) ○科目のうち、特別研究Ⅰ・Ⅱ、プロジェクト演習のほかに1科目以上修得していること (iii) プロジェクト演習におけるディベート試験に合格していること	
	(A2) 技術者としての倫理を身につける (1) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解していること (2) 技術者が社会に対して負っている責任について理解していること	(b)	技術者倫理、又は技術者倫理・技術史を修得していること	
(B) 科学や工学の基礎 科学の粋を極める技術者に必要な数学、自然科学、情報技術、専門工学の基礎を身につける	(B1) 数学、自然科学の力を身につける (1) 数学の基本的な問題が解けること (2) 数学、自然科学の知識を活用して、自然現象の本質を問う問題が解けること (3) 自主的、継続的に学習できること	(c) (g)	(i) ◎科目を全て修得していること (ii) ○科目のうち、宇宙地球科学のほかに2科目以上修得していること (iii) (B1)に関する総合的試験において60点以上とっていること	
	(B2) 情報技術、専門工学の基礎を身につける (1) 専門性に即して問題を掘り下げる上で土台となる情報技術と専門基礎知識があること (2) 自主的、継続的に学習できること	(c) (d1) (g)	(i) ◎科目を全て修得していること (ii) ◎と○科目の中から10科目以上修得していること。 (iii) (B2)に関する総合的試験において60点以上とっていることまたは技術士一次試験に合格していること	

学 習 ・ 教 育 目 標		関連する JABEE 基準	評 価 方 法	備 考
主 目 標	到 達 目 標			
(C) コミュニケーション能力 地域や国際舞台での活躍をめざして、多様な文化の理解とコミュニケーションできる力を身につける	(C1) 表現する力, ディスカッションする力を身につける (1) 自ら表現したいことについて第三者が理解できるように明確に表現でき, そのテーマについて議論できること	(f)	(i) ◎科目及び○科目を修得していること (ii) 学外団体主催による研究会等において発表を行っていること	
	(C2) 英語を用いてコミュニケーションできる力を身につける (1) 英語で表現された文章を理解でき, 英語による簡単なコミュニケーションができること	(f)	(i) ◎科目を全て修得していること (ii) 以下の①, ②, ③のいずれかを満たしていること ①英語コミュニケーション演習 I・II の修得 ②英語に関する資格試験における, TOEIC L&R (公開・IP) 400 点, TOEIC Bridge L&R 140 点 ^{*1} , 又は 78 点 ^{*2} , TOEFL (IBT) 36 点, 実用英検準 2 級, 工業英検 3 級, 技術英検 2 級, ACE 515 点以上のいずれかの取得 ③専攻科会議において適切と判断された国際会議等での英語による口頭発表の実施	
(D) 技術者としてのセンス 創造的技術者としてのセンスを磨き, 探求心, 分析力, イメージ力を身につける	(D1) 探求心, 分析力, イメージ力, デザイン能力を身につける (1) 技術的対象に対して, 計測測定を行い, 問題を分析することができること (2) ものやシステムを創造するために結果をイメージして, その結果を得るための方法やシステムなどをデザインすることができること (3) 問題を深く掘り下げる努力ができること	(d2) (e) (d3) (g) (h)	◎科目を全て修得していること	
	(D2) 協力して問題を解決する力を身につける (1) 問題をチームで解決する体験を得ること (2) 問題解決を分担化し, 自らの分担を見定めて行動できること	(d4) (i) (d3) (e) (h)	(i) ◎科目を全て修得していること (ii) 校外実習と実務実習のうちから 1 科目以上を修得していること	

学 習 ・ 教 育 目 標		関連する JABEE 基準	評 価 方 法	備考
主 目 標	到 達 目 標			
(E) 専門工学の 活用 専門工学の知識を修得して その相互関連性を理解し、 これを活用する力を身につける	(E1) 専門工学の知識を獲得する (1) 自らの専門性に即して、一つの分野を深く掘り下げることのできる専門工学の知識があること	(d1)	(i) ○科目のうち、10科目以上修得していること (ii) 専門性に即した小論文試験で、60点以上とっていること	
	(E2) 工学の相互関連性を理解する (1) 技術が、ものやシステムの複雑なつながりによって成り立っていることを理解していること (2) 自らの専門以外の一つ以上の分野について基礎的な知識を有していること	(d1) (e)	(i) ◎科目を全て修得していること (ii) ○科目の中から、1科目以上修得していること	
	(E3) 専門分野における研究開発の体験を通して問題を発見し、解決する力を身につける (1) 自らの専門分野において、問題の所在と性質を見極め、その対処法あるいは解決法をデザインし、これを実行することができること	(d2) (d3) (h) (e) (g)	特別研究Ⅰ・Ⅱを修得していること	

◎科目や○科目は、別表1－2に示しています。

※1 スコア180上限で実施された旧形式のものが対象

※2 スコア100上限で実施された新形式のものが対象